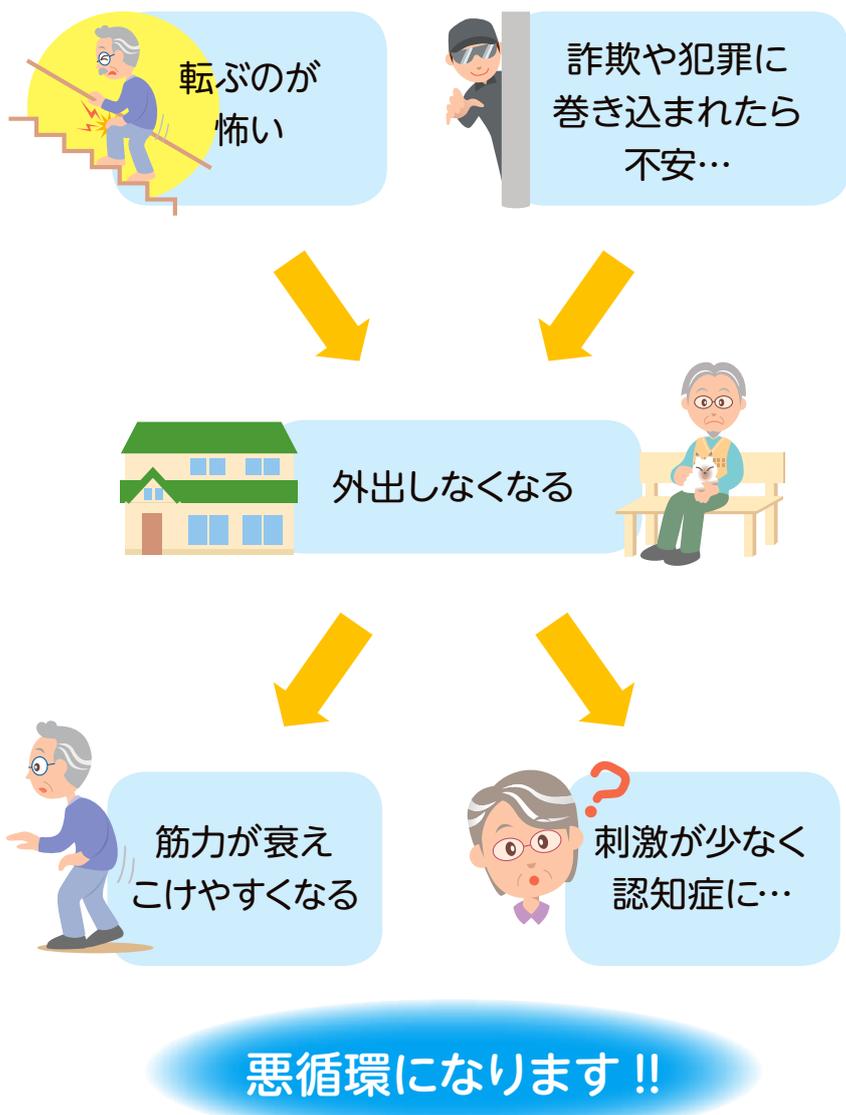


高齢者 あんしん 見守りネットワーク

～高齢者を地域の人みなで見守ろう～

市では高齢者のかたが地域で安心して生活ができるようにみなで見守り、支えていくためのネットワークづくりを行っています。

健康福祉課地域包括支援センター ☎ 25 1182



鳥羽市の高齢者数って？

平成25年6月末での市の人口21,020人のうち、65歳以上のかたは6,588人となっています。

今後少子化が進み、人口は減っていくなかで高齢者の割合は増えていくことが予想されています。

高齢になると...

若いころと比べると足腰

が弱くなり、骨ももろくなるので、転んで骨折するおそれが高まります。

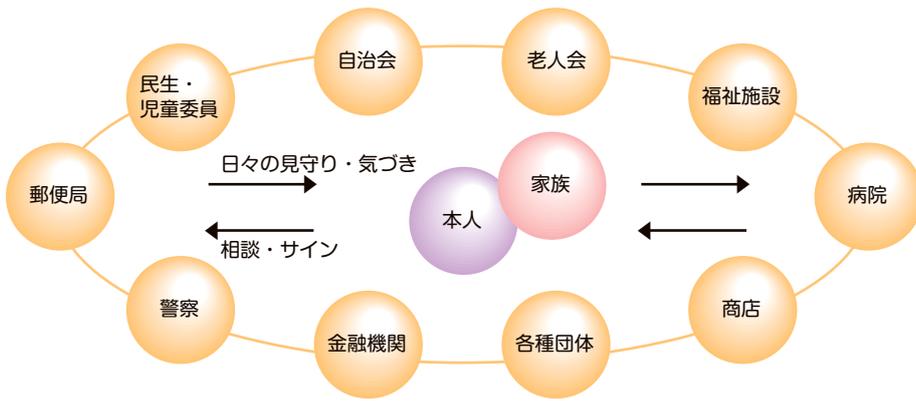
詐欺や犯罪に巻き込まれるなどの危険が増えてきます。最近では高齢者を狙った「振り込め詐欺」や必要のない健康食品を送りつける「送りつけ商法」が増えていきます。

こういった不安や危険から「外出してこけるといかに、家でテレビをみてみよう」ということになり、

外出しない、あまり動けなくなる、筋力が衰える、転びやすくなる、なおさら外出しなくなるという悪循環になります。

また外出しないことにより、他人と話をすることによって、刺激が少なく、認知症になる可能性も高くなってきます。

鳥羽市高齢者あんしん見守りネットワーク



そこで地域での見守り

高齢者のかたが住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、地域のみなさんや関係機関が普段の生活や業務の中で支えていく見守りネットワークがあります。

ネットワーク会議を開催しました

今年度は見守り協力事業所が集まり、勉強会と意見交換を行いました。勉強会では高齢者虐待の知識を得て、自分たちの業務の中での見守りや声かけなど意見

交換を行いました。

みなさんの業務の中で高齢者のかたと関わることが多く、見守りの必要性を再認識してもらいました。

みんなで見守っています

現在、見守りネットワークに協力している事業所は51店あり、協力店は店舗入り口などにステッカーを貼っています。



ステッカー見本

見守り協力店は特別なことをするのではなく、普段の業務の中で、無理なくできる範囲で気軽な声かけなどを行います。小さな関わりから高齢者の異変や不調が分かることがあります。協力事業所は気になる高齢者や支援が必要なかたがいた場合、地域包括支援センターに連絡をしていただくことになっています。

みなさんも気になるかたは、いませんか？

みなさんの周りにいる高齢者のかたで、気になるかたはいないでしょうか。(図参照)

小さな「気付き」が高齢者のかたを困っていることから早く助けることにつながります。

気になるかたがいたら、地域包括支援センターに連絡してください。

協力店(員)募集中!!

高齢者のかたを見守る事業所や協力員を随時募集し

ています。

見守りは支援が必要なかたをサービスなどへつなげる重要な役割を果たします。少し意識して高齢者の様子を見守り、普段から気にすることでいつもと違うことや、小さな「気付き」になることがあります。協力していただける事業所は地域包括支援センターに連絡してください。

住み慣れた地域でいつもでも生活ができるように地域全体で高齢者のかたを見守り、支援して住みよい鳥羽にしていきたいと思います。

(図)

あれ??

たとえばこんなことはありませんか??

- 郵便物や新聞が郵便受けにたまっている
- 夜になっても家に明かりがつかない
- 見慣れない人が家に入出入りするようになった
- 顔や腕などに不自然なあざが多くなった
- 顔色も悪く、やせてきた気がする
- 急にやせた (または太った)